

# 各 駅 停 車

福祉と障がいのある方を理解するための情報紙

## 障がい者就労・ 生活支援センター

豊田市栄町1-7-1 (けやきワークス内)  
TEL: 0565-36-2120  
平日 9:00~19:00  
土曜 9:00~17:00

障がい者就労・生活支援センターでは、障がいのある方の就労や生活の支援をしています。

事業団に開設されて今年で5年目。障がいの程度や種別に関係なく、その人にあった仕事や生活の相談や支援を行っています。どうぞお気軽にお問い合わせ下さい。

「楽しく働いています！」

(有) 大津青果に勤務W.Y.さん



美里にある(有)大津青果で働き始めて約半年。W.Y.さんは毎日元気に働いています。仕事は野菜や果物の袋詰めを任されています。

今回はW.Y.さんにインタビューをしてきました。

- 「お仕事は楽しいですか？」  
『はい。楽しいです。』
- 「どんな仕事をしていますか？」  
『野菜の袋詰めの仕事をしています。』



• 「きついことはないですか？」

『きついことはないです。周りのパートさんたちが優しいので、楽しく仕事をしています。』

W.Y.さんは、大津青果のなかで、勤務形態の変更や、急ぎの仕事にも対応できており、入社当初より明らかにスピードアップをしています。そのため他の従業員の方々から大変に頼りにされています。



人参の袋詰め作業



従業員みなさんと一緒に

「W.Y.さんはホントによくやってくれています。

今日出したい商品の袋詰めをお願いすると、パパパッとやってくれます。毎日休まず出勤してくれるので、安心して任せられます。」

「W.Y.さんが袋詰めの仕事をやってくれているので、私たちは他の仕事に専念できます。」

「W.Y.さんはなかなかうまく話せないけど、朝と帰りは元気よくあいさつしてくれるし、ハイタッチをしたりして、コミュニケーションを取っています。」

「昼食のときも弁当や果物を交換したり、分けたりしています。みんなW.Y.さんを娘のようにかわいがって、仲良くやっています。」

# 窓

## 「気持ちに寄り添った支援」

就労や生活の相談に来られる障がいのある方の中には、ご家族と一緒に来られる方もいます。支援センターに来て面接を始めたころは、本人は人見知りをしてお母さんの背中に隠れてしまい、私たちの質問に答えることができません。面接を重ねて私たちに慣れていっても、彼らを支援する新しい職員と顔合わせをすれば、今度はその職員にまた人見知りしてしまいます。

「なかなか話せないけど、本当に働けるのかな？」と思いました。しかし、本人の希望に沿って職場実習をしてみると、実習の最後に本人は、今まで聞いたことのないはっきりとした声で「ここで働きたい」と言ったのです。

周りの従業員の方々の優しい理解と温かい協力もあって、今では職場の中で、無くてはならない存在になっています。

支援センターから就労していった方が、会社の方々に理解してもらい仕事を続けられるのは、私たちのやりがいです。これからも彼らを応援していきたいと思います。

(障がい者就労・生活支援センター 支援員)

### 紹介コーナー 豊田市こども発達センターの給食



豊田市福祉事業団では、利用者に給食を提供しています。モットーは「食は心のメッセージ」。直営ならではの、手作りであたたかい雰囲気を目指しています。今回は豊田市こども発達センターの給食を紹介したいと思います。

発達センターの給食は、お子さんたちの「噛んだり飲み込んだりする力」に合わせて、食事形態（食べ物の柔らかさ）を変えています。離乳食のようなペースト食からお子様ランチのような幼児食まで、同じ献立を8段階の柔らかさに分けています。もちろん食物アレルギーにも気を付けています。また、給食の献立が家庭での食生活に生かされるように、栄養士や調理員・作業療法士などの職員と保護者が一緒に調理実習を行っていることも大きな特徴です。

給食の時間。「いただきま〜す！」のあいさつの後に給食をほおぼるお子さんたち。これからはお子さんたちのおいしそうに食べる笑顔に支えられて、心のこもった給食を届けていきたいと思っています。

### 第13回 豊田市こども発達センター 公開セミナーを終えて

去る11月16日(日)豊田市こども発達センターひまわり2階ホールにて「ライフサイクルをふまえた障がい児・者支援」というテーマで公開セミナーを開催しました。講演やシンポジウムを通して「思春期・青年期の過ごし方」「地域生活」「就労について」など、今後の福祉のことを考える貴重な一日となりました。

